

平成 27 年度えりも地域ゼニガタアザラシ対策事業

中間報告（被害防除に関する事業）

1) 漁網の改良（環境研究総合推進費：北大・農大等と連携）

2 種類の改良網を、漁業者の協力を得て漁業期間中に設置した（図 1.）。

①ゼニガタアザラシの入網を阻止する格子網を、金庫網に装着したもの。

※春定置漁業期間中に 1 ヶ統（5 月 25 日から 6 月 13 日まで）、秋定置漁業期間中に 2 ヶ統（8 月 31 日から 9 月 12 日まで）において実施。

②金庫網内でサケとゼニガタアザラシを分離する仕切り網を装着したもの。

※秋定置漁業期間中に 1 ヶ統（8 月 31 日から 9 月 12 日まで）において実施。

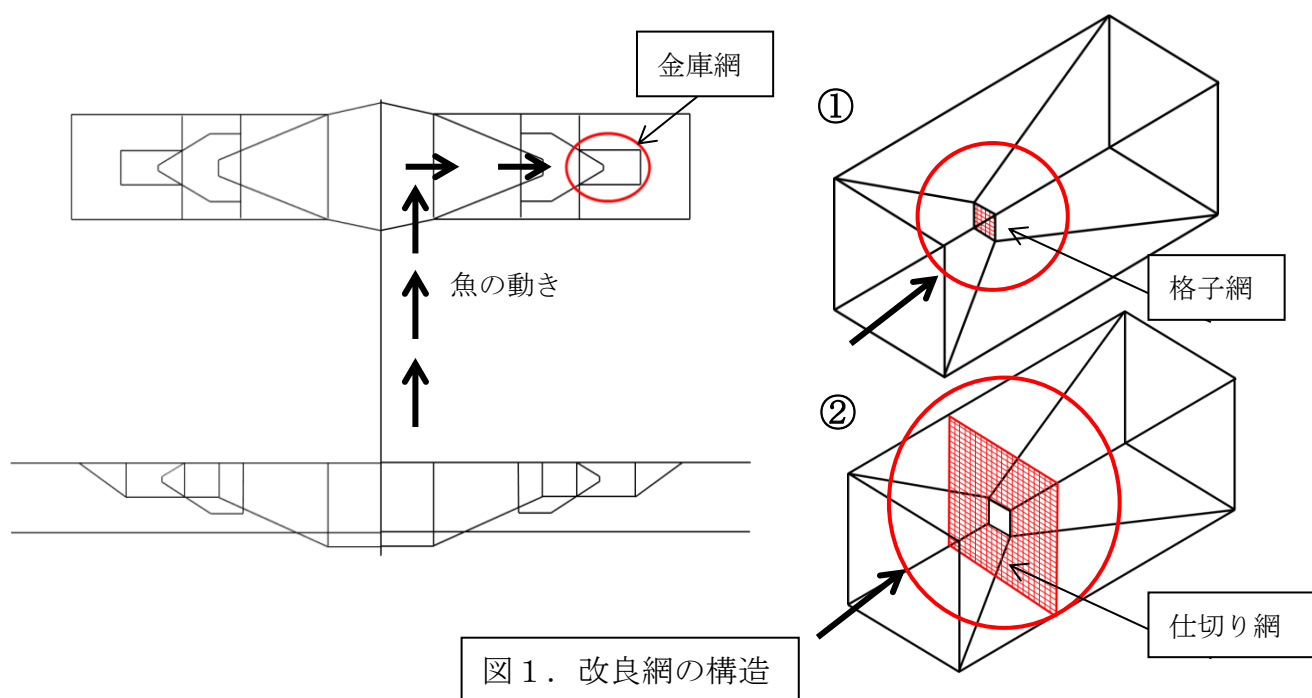


図 1. 改良網の構造

①については、2 種類の網目サイズ(20cm×20cm、20cm×40cm)の格子網を試行し、水中カメラによりゼニガタアザラシ及び魚類の入網状況と網の中での行動を撮影した。春定置漁業期間中の撮影結果は、以下の通り。

- 20cm×20cm の格子網では、ほとんどのゼニガタアザラシの入網を阻止することが出来たが、格子網に対する魚類の忌避行動が比較的多く見られた。
- 20cm×40cm の格子網では、ゼニガタアザラシの一部の入網を阻止することができたものの、入網行動が多く見られた。また、魚類の忌避行動も見られた。
- 網の中でゼニガタアザラシがサケを捕食する様子も撮影された。

①の秋定置漁業期間中の結果及び②の結果については、現在整理中。

2) 捕獲罟の設置

- 改良網と併せて、ゼニガタアザラシ捕獲を目的とした捕獲罟（図 2.）を設置した。（春期漁期中）

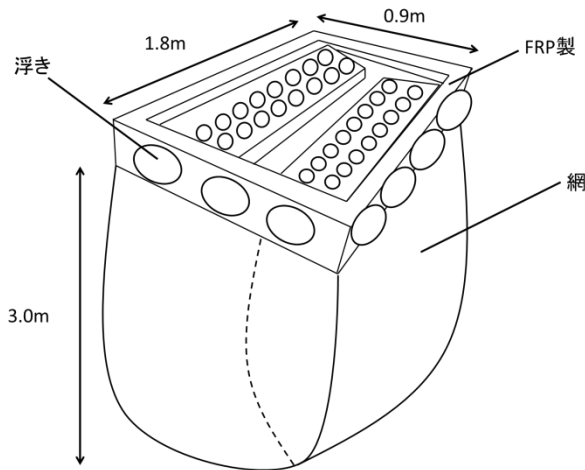


図 2. 捕獲罟の構造



5月26日から6月20日の期間中、海の状況等に応じて、1基から5基の罟を定置網周辺に設置した。設置当初は捕獲される個体は無かったが、罟の中に誘引餌を入れることにより、1頭の生体捕獲に成功した。

3) 忌避装置の改良試験

- 6月に捕獲されたゼニガタアザラシを、えりも岬漁港に設置した生け簀で一時的に飼育し、既存の忌避装置に対する行動を調査した。
- 今後、さらに改良した忌避装置に対する行動の調査を、10月以降に実施する予定。